

令和7年度 国保税計算表

【計算条件】

○世帯員：父(45歳)・母(43歳)・子ども(19歳)・子ども(17歳) ※全員 国保被保険者

○世帯総所得：1,000,000円

| | |
|-------|--|
| 所得割 | 加入者の前年の所得に応じてご負担いただく部分 |
| 均等割 | 所得の有無や年齢にかかわらず、国保に加入している方全員に定額でご負担いただく部分 |
| 世帯平等割 | 人数や所得にかかわらず、国民健康保険に加入している世帯に定額でご負担いただく部分 |

| | 医療保険分 | | | 支援金分 | | | 介護保険分 | | | 合計 |
|-----|--------|-----------------------|---------|-------|-----------------------|--------|-------|-----------------------|--------|---------|
| | 税率等 | | 計 | 税率等 | | 計 | 税率等 | | 計 | |
| 所得割 | 5.70 | × 所得額 1,000,000 | 57,000 | 2.55 | × 所得額 1,000,000 | 25,500 | 2.32 | × 所得額 1,000,000 | 23,200 | 105,700 |
| 均等割 | 19,000 | × 4 | 76,000 | 9,200 | × 4 | 36,800 | 9,500 | × 2 | 19,000 | 131,800 |
| 平等割 | 17,700 | × 1 | 17,700 | 7,800 | × 1 | 7,800 | 6,500 | × 1 | 6,500 | |
| 合計 | | | 150,700 | | | 70,100 | | | 48,700 | 269,500 |

③ 軽減制度

| 種類 | 対象者 | 内容 |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------|
| ア 低所得世帯の保険税軽減 (均等割・平等割) | 世帯所得が一定基準以下の世帯 | 均等割・平等割が7割/5割/2割等で軽減 |
| イ 特定世帯・特定継続世帯 (後期高齢者医療への移行) | 後期高齢者医療へ移行し、国保加入者が1人になる等の世帯 | 平等割を一定期間軽減 |
| ウ 未就学児に係る均等割の軽減 (子どもの均等割軽減) | 未就学児(小学校入学前)の被保険者がいる世帯 | 該当する子ども分の被保険者均等割を減額 |
| エ 非自発的失業者の軽減 (倒産・解雇等) | 倒産・解雇等により離職した方 | 一定期間、保険税算定上の所得を軽減して計算 |
| オ 産前産後期間の軽減 | 出産予定日(または出産日)前後の一定期間にある方 | 期間中の所得割・均等割等の一部を軽減 |
| カ 災害・所得皆無等による減免 (条例第25条関係) | 災害などで重大な損害を受けた方、所得がなく生活が困難な方 | 申請により保険税を減免 |
| キ 旧被扶養者に係る減免 (要綱で基準規定) | 会社の健康保険等の被扶養者だった方が国保に加入した場合 | 申請により(要件該当で)均等割・平等割を減免 |

【協議事項 2】

「長野県における保険税水準の統一に向けた松川町のロードマップ」について

1 国民健康保険の運営について

H29年度まで
各市町村で国保を運営

課題

- ①他の保険者と比較して医療費水準が高い。
(退職後～74歳が入るため前期高齢者が多い。)
- ②被保険者の所得水準が低い。
(保険料負担が重い。)
- ③小規模町村が多く、保険料変動リスクが高い。
(一人の医療費に左右されてしまう。)
- ④住民サービスの市町村格差が大きい。
(住む場所で受けられるサービスに差。)

このままでは・・・

- 保険料の上昇
- 市町村間保険料の格差拡大
- サービスの低下や格差拡大

H30年度～
市町村と県が共同で国保を運営

市町村だけの運営では財政破綻してしまう可能性から
平成30年4月から
都道府県が財政運営責任主体となり、
県と市町村が一体となって国民健康保険を運営

- 保険料変動リスクの抑制
- 保険料市町村格差是正
- 住民サービスの維持（格差是正）

完了ではなく
現在進行形

保険料水準の完全統一

国保運営
安定化
のため

2 保険料水準の完全統一とは

国民健康保険の保険料率を県内(全市町村)で同じにすること

(各市町村が保険料率を決定するのをやめ、県が示す標準保険料率を使用する)

県民(国保被保険者)
が得られる
メリット

県内どこでも

- ・ 同じ保険料 ※同じ所得水準、同じ世帯構成の場合
- ・ 毎年保険料が安定
- ・ 同じ住民サービス ※同じ助成金額、適応条件等



3 保険料水準の完全統一に向けて

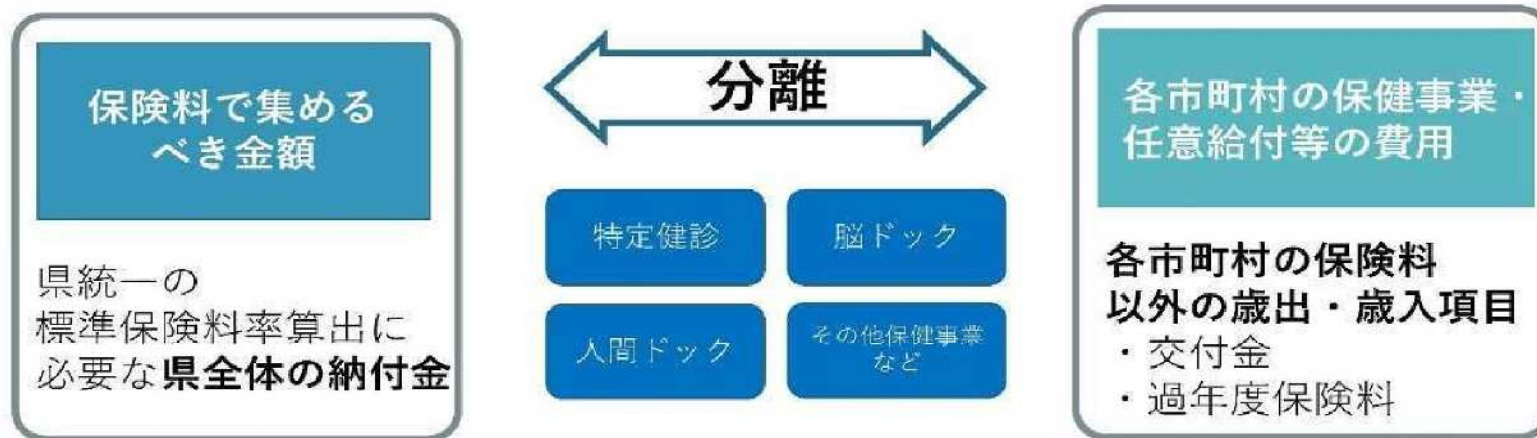
(1) 国の方針

令和6年6月に保険料水準加速プラン（第2版）が示され、完全統一までのスケジュールが【令和15年度（遅くとも令和18年度）までに完全統一】と示されました。

(2) 県内における保険料完全統一までのスケジュール

国で示された方針に基づき、同じ保険料負担で同じ住民サービスが受けられるように、長野県の保険料水準完全統一に向けた議論が進んでいますが、まだ詳しい方向は示されていません。

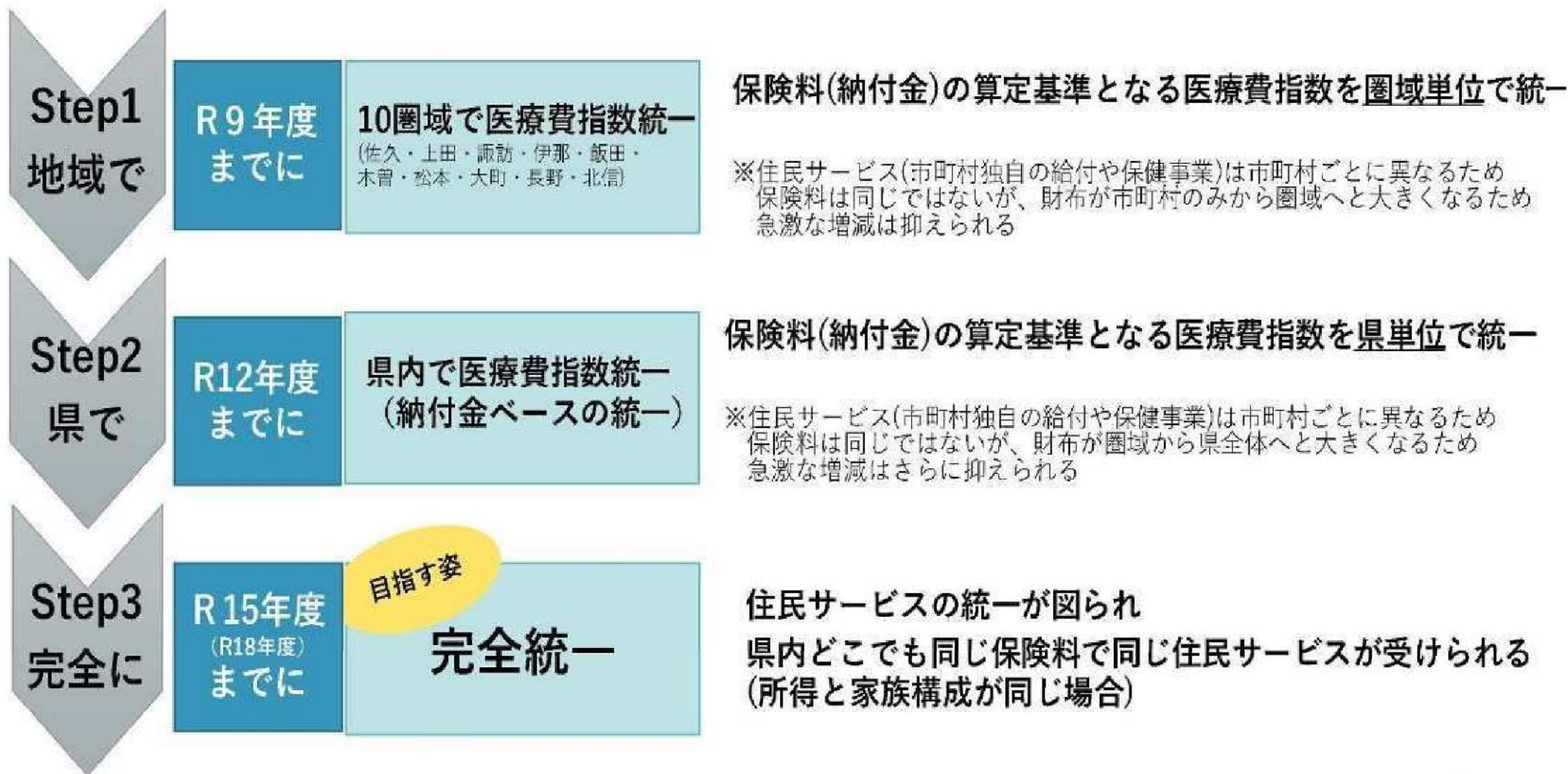
①保険料水準完全実施の在り方



⇒ **保険料水準は県で統一、保健事業・任意給付は一定の基準を設けつつ、市町村独自の取組も可能**

保険料水準の統一＋住民サービスをどこまで統一していくか議論が必要。

②県内における保険料水準完全実施に向けたスケジュール



・標準保険料率は、県及び市町村間の保険料水準の比較を行うための参考料率です。

(保険料水準統一のための目標として示されたものではありません。)

各市町村の納付金から市町村個別の公費等の見込額を控除し、独自に行う保険事業や任意給付等の費用見込額を加算した、その市町村の保険料として集めるべき必要額を基にして算出した料率となります。従って、市町村の個別の基金や余剰金、法定外繰入等の影響は加味されていないため、実際に市町村が賦課する保険料率として示されているものではありません。

あくまで参考値となりますが、令和8年度分について町税率との差額は以下のとおりです。

| | | 応能割 | | 応益割 | | | |
|------|-----|-------|--------|----------|----------|----------|----------|
| | | 所得割 | | 均等割 | 平等割 | 合計 | 差額 |
| 医療分 | 長野県 | 6.59% | △0.89% | 24,054 円 | 24,546 円 | 48,600 円 | △9,800 円 |
| | 松川町 | 5.70% | | 20,000 円 | 18,800 円 | 38,800 円 | |
| 支援金分 | 長野県 | 2.93% | △0.38% | 10,974 円 | 9,865 円 | 20,839 円 | △3,839 円 |
| | 松川町 | 2.55% | | 9,200 円 | 7,800 円 | 17,000 円 | |
| 介護分 | 長野県 | 2.47% | △0.15% | 10,308 円 | 8,276 円 | 18,584 円 | △2,584 円 |
| | 松川町 | 2.32% | | 9,500 円 | 6,500 円 | 16,000 円 | |

※標準保険料率を下回る場合、納付金原資に不足が生じることになるため、別途資金の工面が必要となります。(基金取崩し、法定外繰越等)

5 「長野県における保険税水準の統一に向けた松川町のロードマップ」について

(1) 松川町ロードマップ策定の経緯とこれまで

県の「保険税水準の統一」に向けた考え方を踏まえ、町は令和3年度に、急激な負担増を避ける激変緩和を目的とした「松川町ロードマップ」を作成しました。以降、基本的にロードマップに沿って毎年、国保税の見直し(増額)を行ってきました。

(2) 運営協議会での主な意見(見直し検討のきっかけ)

運営協議会から、二次医療圏統一までの税率(額)の妥当性や増額の必要性について意見があり町は見直しの可否を検討しました。結果、目標税率が示されていないことや子ども・子育て支援金制度の創設等を踏まえ、見直しは行わず計画どおり継続することとし、令和7年2月の運営協議会で承認を得ました。

(3) 今後の進め方

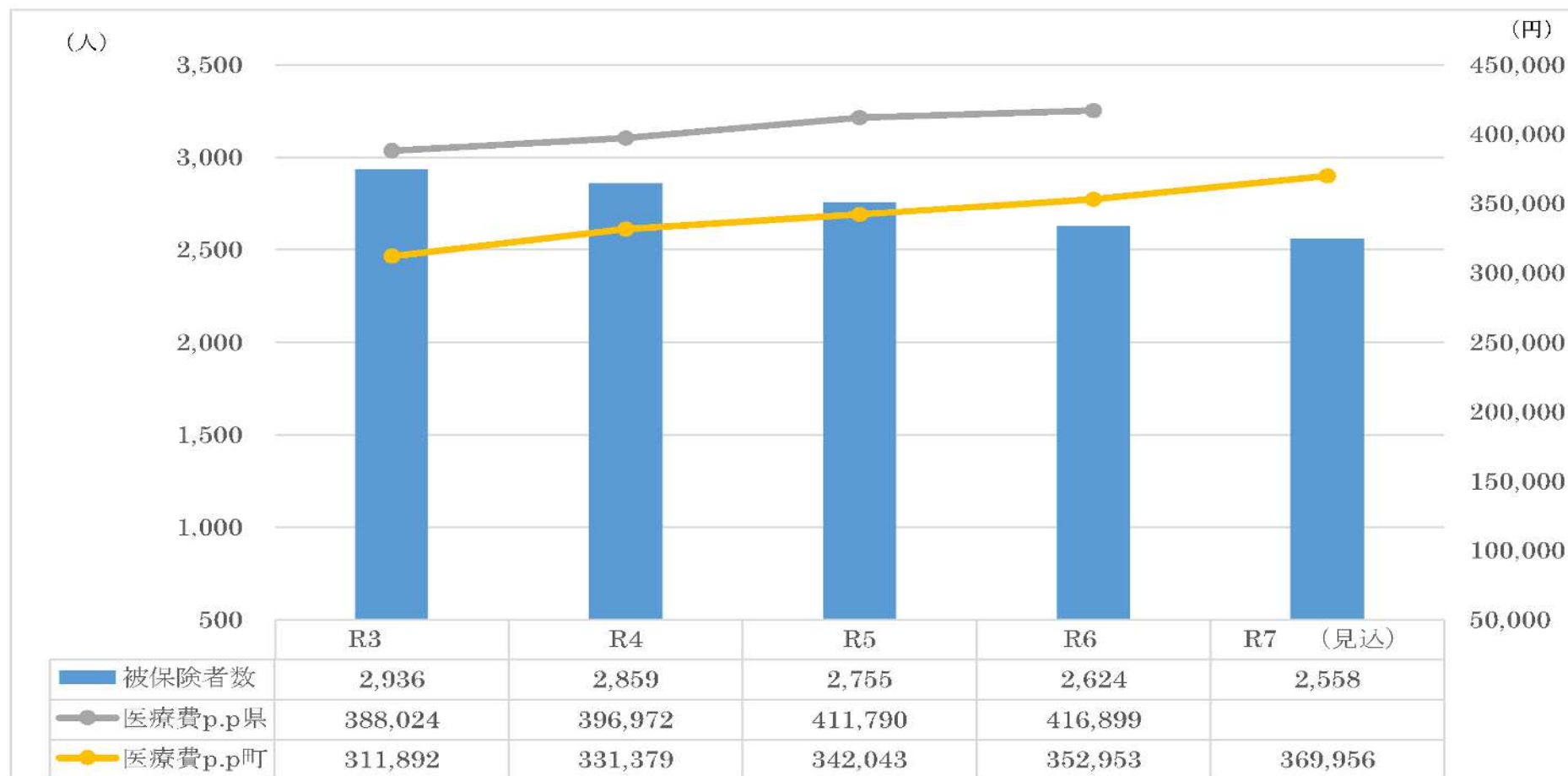
現行ロードマップは令和9年度までのため、来年度以降の国保税の見通しと激変緩和の継続に向け、次の観点で検討します。

- ア. 到達点の確認: 県方針との整合を踏まえ、町の目標水準を整理
- イ. 新制度影響の反映: 子ども・子育て支援金分の影響を整理
- ウ. 財政見通し: 医療費動向や基金等を踏まえ、必要な税率水準と引上げ幅を検討
- エ. 激変緩和の継続: 段階的見直しの期間・幅を再設計

今後、国や県の動向を注視し、方針が示され次第、運営協議会の皆様にご相談しながら、次期町ロードマップ(計画)の策定を進めてまいります。

【追加資料】国民健康保険の状況について

1. 被保険者数・一人あたり医療費の推移



○被保険者数が減少（令和6年度より66人）している中で、1人あたり医療費は増加傾向が続いており、全県で見た場合にも顕著となっている。

2. 高額療養費（30万以上レセプト）

| 分類 | R7 年度 | | | R6 年度 | | |
|--------|-------|-------------|-----------|-------|-------------|-----------|
| | 件数 | 費用額 | 1人当たり医療費 | 件数 | 費用額 | 1人当たり医療費 |
| 新生物 | 115 | 88,739,750 | 771,650 | 116 | 91,338,080 | 787,397 |
| 循環器 | 35 | 37,713,170 | 1,077,519 | 48 | 51,228,330 | 1,067,257 |
| 筋骨格器系 | 32 | 35,835,220 | 1,119,851 | 56 | 55,274,260 | 987,040 |
| 尿路泌尿器系 | 51 | 32,397,110 | 635,237 | 67 | 36,213,430 | 540,499 |
| 精神 | 51 | 26,905,590 | 527,561 | 65 | 38,033,150 | 585,125 |
| 神経系 | 41 | 30,006,000 | 731,854 | 24 | 14,944,320 | 622,680 |
| 消化器系 | 24 | 14,637,910 | 609,913 | 11 | 8,948,370 | 813,488 |
| 呼吸器系 | 16 | 10,662,430 | 666,402 | 12 | 7,664,800 | 638,733 |
| 眼 | 19 | 9,321,520 | 490,606 | 7 | 3,131,290 | 475,157 |
| 糖尿病 | 1 | 329,850 | 329,850 | 3 | 1,425,470 | 475,157 |
| 感染症 | 0 | 0 | 0 | 1 | 416,080 | 416,080 |
| その他 | 62 | 36,813,690 | 593,769 | 66 | 38,555,440 | 584,173 |
| 総計 | 447 | 323,362,240 | 723,405 | 476 | 347,173,020 | 729,355 |

令和6年度も令和7年度も4月～1月までの値。

令和7年度は令和6年度より件数が減少。特に循環器疾患・筋骨格の件数が大幅に減少している。

【協議事項3】国民健康保険事業の状況について

①国保保健事業について

町では国保保健事業として、健康課題に基づき必要な事業を企画・実施し、評価しています。

| 保健事業名 | 内容 | R7年度の実績 | 評価指標 (毎年の保健計画で評価) |
|----------------------------|---|--|------------------------|
| ・特定健診 | 健康診断の企画・運営・受診勧奨 | 【年間実施】R7年度(12月まで) 日赤健診受診者数:1,291名 | 受診率、医療費、健診結果 |
| ・特定保健指導 ・健診結果説明会 ・訪問 | 健診結果からご自身の体で何が起きているか、 資料を使い説明する。 | 随時(～12月) ・対面相談:796名(61.7%) 結果説明会:453名 訪問・面談等:343名 | 受診率 医療費 健診結果 |
| ・糖尿病重症化予防 | 下伊那赤十字病院等と連携し、糖尿病対策 (受診勧奨・保健指導・予防教室)を実施。 協会けんぽ・建設国保等と連携し、保健指導。 | ・保健指導:随時実施 ・教室(2/5実施)参加者:8名 理学療法士による 運動療法の講義等 | 健診や検査結果 医療費 |
| ・高血圧重症化予防 | 健診受診勧奨、保健指導、 高血圧予防教室開催 | 随時実施 教室(2/16・3/17実施)参加者:5名 1回目:講義・減塩・バランス食の試食 2回目:薬剤師さんの話 | 健診、検査結果、医療費 |
| ・インターバル速歩 ・筋力トレーニング | インターバル速歩(肥満・高血圧・糖尿病の 改善が期待できる歩き方)と筋トレの運営 | 7月～3月毎月1回 参加者実人員:14名 延べ人員:62名(1回平均7.75人) | 健診結果、運動習慣の継続、 本人の主観 |
| ・健康ポイント事業 | 健康診断を受け、結果説明会に参加すると マークンポイント200P付与、さらに運動教室 などに参加すると+200P付与している。 | マークンポイント交換カード配布者 (12月まで):389名 ポイント交換者123名 | 健診受診率 |
| ・国保データヘルス計画 | 国保被保険者の健診に関するデータ分析と 保健事業の計画 | | |

他にも、後発薬品の促進利用を勧める、多剤・重複服薬の方への指導なども実施しています。

② 特定健診受診率・特定保健指導終了率

| | % | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 |
|---------------|------|------|------|------|------|------|
| 特定健診 受診率 | 松川町 | 57.7 | 60 | 61.2 | 61.8 | 60.3 |
| | 県内順位 | 16位 | 14位 | 13位 | 14位 | 18位 |
| | 県 | 41.5 | 45.3 | 46.5 | 47.1 | 47.9 |
| 特定保健指 導終了率 | 松川町 | 81.5 | 71.8 | 65.9 | 78.9 | 82.7 |
| | 県内順位 | 19位 | 36位 | 42位 | 23位 | 21位 |
| | 県 | 58 | 56.9 | 58.6 | 58.3 | 63.6 |

特定健診は受診率 60%超が生活習慣病予防に効果的とされ、国も目標としています。松川町は R2 年度のコロナ禍の影響時を除き、近年は 60%台を維持しています。今後も受診の継続と受診率向上を図るため、保健師・栄養士による保健指導の質の向上と受診率向上策に取り組んでいます。

③ 保険者努力支援制度

保健事業の取組や国保運営の状況に応じて加点され、得点に応じた配当金が増え、保健事業に充てられる制度です。

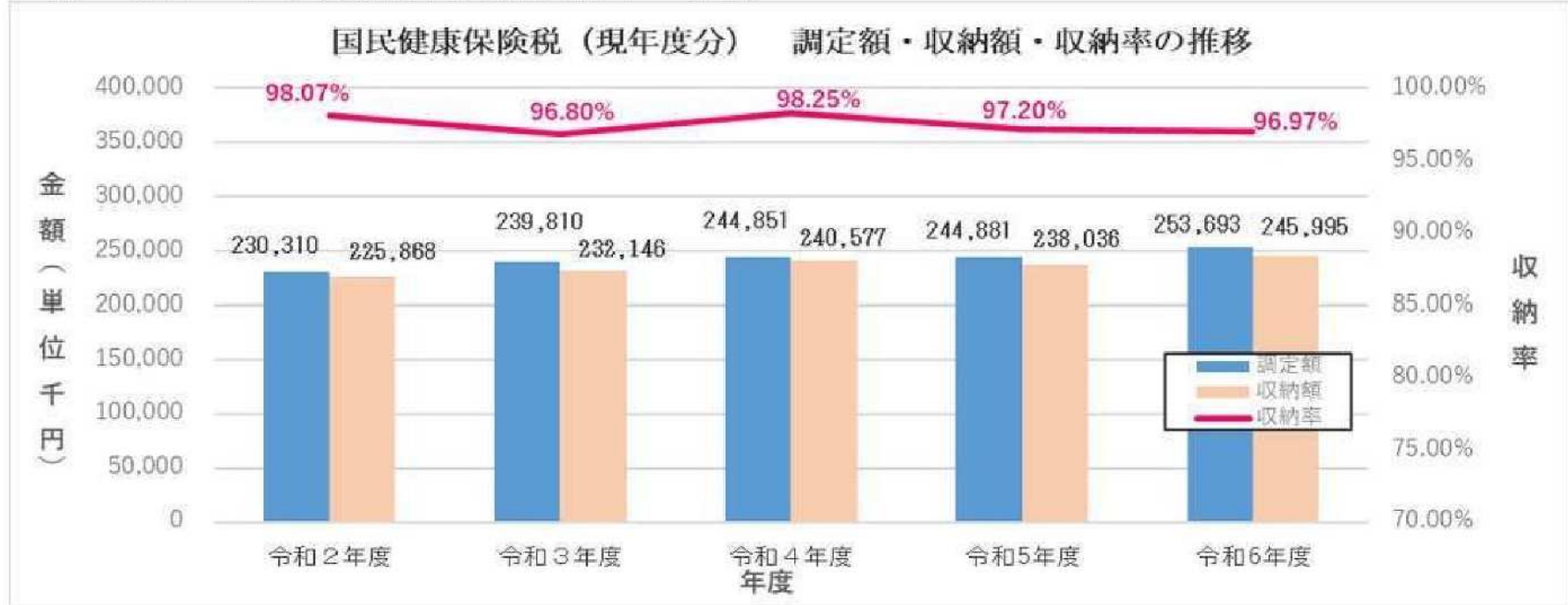
| | | 得点率 |
|-----|--------------------------|-----------------------------|
| 松川町 | 702点/満点988点中 | 71.1% |
| 順位 | 県内順位 15位 / 77市町村中 | 全国順位 75位 / 1,741市町村中 |

| 共通指標 | 満点 | 松川町 | 得点率 |
|---|-----|-----|--------|
| 特定健診・特定保健指導実施率・メタボ該当者及び予備軍の減少率 | 125 | 110 | 88.0% |
| がん検診受診率・歯科検診受診率 | 75 | 25 | 33.3% |
| 生活習慣病の発症予防・糖尿病等の重症化予防・特定健診受診率向上の取り組みの実施状況 | 70 | 60 | 85.7% |
| 個人インセンティブ・分かりやすい情報提供 | 111 | 59 | 53.2% |
| 重複・多剤投与者に対する取り組みの実施状況 | 105 | 65 | 61.9% |
| 後発医薬品の促進の取組・使用割合 | 140 | 140 | 100.0% |
| | 計 | 459 | 73.3% |

| 固有指標 | 満点 | 松川町 | 得点率 |
|---------------------|-------|-----|--------|
| 保険税の収納率 | 100 | 25 | 25.0% |
| データヘルス計画の実施状況 | 15 | 15 | 100.0% |
| 医療費通知の取組の実施状況 | 60 | 60 | 100.0% |
| 地域包括ケア推進・一体的実施の取組状況 | 40 | 40 | 100.0% |
| 第三者求償の取組の実施状況 | 41 | 24 | 58.5% |
| 適正かつ健全な事業運営の実施状況 | 106 | 79 | 74.5% |
| | 計 362 | 243 | 68.0% |

【協議事項 4】 国民健康保険税の収納率等の傾向について

① 近年の国民健康保険税収納率の推移



(単位：千円) 【参考】

| 摘要 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 (1月31日時点) |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|--------------------|
| 調定額 | 230,310 | 239,810 | 244,851 | 244,881 | 253,693 | 244,277 |
| 収納額 | 225,868 | 232,146 | 240,577 | 238,036 | 245,995 | 190,459 |
| 収納率 | 98.07% | 96.80% | 98.25% | 97.20% | 96.97% | 77.97% |

国民健康保険税（過年度分） 調定額・収納額・収納率の推移



(単位：千円)

【参考】

| 摘要 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 (1月31日時点) |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------------------|
| 調定額 | 25,949 | 25,018 | 26,602 | 23,607 | 20,345 | 21,688 |
| 収納額 | 5,139 | 4,187 | 5,065 | 7,623 | 5,700 | 5,485 |
| 収納率 | 19.80% | 16.74% | 19.04% | 32.29% | 28.02% | 25.29% |

【協議事項5】 令和7年度 国民健康保険特別会計決算見込みについて

令和7年度 松川町国民健康保険事業特別会計 決算見込

【歳入】

(単位：千円)

| 科 | 目 | A. 決算見込額 | B. 当初予算額 | 予実比 (A-B) | 説 | 明 |
|----|-------------------------|-----------|-----------|-----------|-------------------------------------|---------------|
| 1 | 国民健康保険税 | 245,575 | 251,437 | -5,862 | | |
| | (1) 一般被保険者国民健康保険税(医療分) | 151,607 | 156,598 | -4,991 | 現年度分 148,394千円 | 滞納繰越分 3,213千円 |
| | (2) 一般被保険者国民健康保険税(支援金分) | 68,657 | 69,796 | -1,139 | 現年度分 67,089千円 | 滞納繰越分 1,568千円 |
| | (3) 一般被保険者国民健康保険税(介護分) | 25,311 | 25,043 | 268 | 現年度分 24,608千円 | 滞納繰越分 703千円 |
| 2 | 使用料及び手数料 | 201 | 201 | 0 | 督促手数料 | 201千円 |
| 3 | 国庫支出金 | 3,200 | 6 | 3,194 | 災害等による国の臨時的補助金 | |
| 4 | 県支出金 | 859,274 | 866,584 | -7,310 | | |
| | (1) 保険給付費等交付金(普通交付金) | 841,636 | 852,378 | -10,742 | 保険給付費(医療費)に対する交付金。出産一時金・葬祭費を除く全額交付。 | |
| | ① 一般分 | 838,728 | 849,228 | -10,500 | | |
| | ③ 審査支払手数料 | 2,908 | 3,150 | -242 | | |
| | (2) 保険給付費等交付金(特別交付金) | 17,638 | 14,206 | 3,432 | | |
| | ① 保険者努力支援分 | 8,557 | 8,342 | 215 | 保険者努力支援制度(市町村交付分) | |
| | ② 特別調整交付金(市町村向け) | 2,391 | 2,301 | 90 | 未就学児医療費分、国保保健事業費分 | |
| | ③ 都道府県繰入金(2号分) | 3,606 | 479 | 3,127 | 後発医薬品の普及、医療費通知等 | |
| | ④ 特定健康診査等負担金 | 3,084 | 3,084 | 0 | 特定健診に係る費用に対し、国と県からそれぞれ上限1/3ずつ補助。 | |
| 5 | 財産収入 | 20 | 20 | 0 | | |
| 6 | 繰入金 | 81,065 | 83,006 | -1,941 | | |
| | (1) 一般会計繰入金 | 70,565 | 71,506 | -941 | | |
| | ① 保険基盤安定繰入金 | 56,183 | 55,871 | 312 | 総務費(歳出科目)に対する繰入金。国県補助分を控除して繰入を受ける。 | |
| | ② 職員給与等事務費等繰入金 | 8,507 | 8,427 | 80 | | |
| | ③ 出産育児一時金等繰入金 | 1,333 | 2,666 | -1,333 | 出産育児一時金の歳出額の2/3を繰入 | |
| | ④ 財政安定化支援事業繰入金 | 4,542 | 4,542 | 0 | 交付税措置(年齢構成差)分 | |
| | (2) 財政調整基金繰入金 | 10,500 | 11,500 | -1,000 | 町基金を取り崩したときの繰入金 | |
| 7 | 繰越金 | 29,544 | 20,178 | 9,366 | 前年度から今年度への繰越金 | |
| 8 | 諸収入 | 7,021 | 6,892 | 129 | 第三者行為求償ほか | |
| 合計 | | 1,225,900 | 1,228,324 | -2,424 | | |

【歳出】

(単位：千円)

| 科 | 目 | A. 決算見込額 | B. 当初予算額 | 予実比 (A-B) | 説 明 |
|----|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------------------------------|
| 1 | 総務費 | 11,616 | 8,433 | 3,183 | |
| | (1) 総務管理費 | 4,126 | 4,046 | 80 | 国保資格の管理に関するシステム委託料、保険証発行、郵送等事務費ほか |
| | (2) 徴税費 | 7,438 | 4,244 | 3,194 | 国保税に関連するシステム委託料、コンビニ収納サービス利用料ほか |
| | (3) 運営協議会費 | 52 | 143 | -91 | 国保運営協議会の委員に対する報酬 |
| 2 | 保険給付費 | 846,930 | 860,030 | -13,100 | 国保会計により賄われた医療費 |
| | (1) 療養給付費 | 728,344 | 738,344 | -10,000 | |
| | (2) 療養費 | 9,332 | 9,832 | -500 | |
| | (3) 審査支払手数料 | 3,150 | 3,150 | 0 | |
| | (4) 高額療養費 | 100,452 | 100,452 | 0 | |
| | (5) 高額介護合算療養費 | 500 | 500 | 0 | |
| | (6) 移送費 | 0 | 100 | -100 | |
| | (7) 出産育児一時金 | 2,002 | 4,002 | -2,000 | |
| | (8) 葬祭費 | 750 | 1,250 | -500 | |
| | (9) 結核精神給付金 | 2,400 | 2,400 | 0 | 町独自の給付制度 |
| 3 | 国民健康保険事業費納付金 | 327,239 | 327,239 | 0 | 町から県へ支払う納付金 |
| | (1) 医療給付費分 | 205,307 | 205,307 | 0 | |
| | (2) 後期高齢者支援金等分 | 91,118 | 91,118 | 0 | |
| | (3) 介護納付金分 | 30,814 | 30,814 | 0 | |
| 5 | 保健事業費 | 14,353 | 14,048 | 305 | 疾病予防事業・特定健診・特定保健指導 |
| 6 | 基金積立金 | 20 | 20 | 0 | 基金利子分積立 |
| 8 | 諸支出金 | 9,580 | 8,168 | 1,412 | 償還金・還付金・延滞金 ほか |
| 9 | 予備費 | 16,162 | 10,386 | 5,776 | |
| 合計 | | 1,225,900 | 1,228,324 | -2,424 | |

令和7年度の決算見込

【歳入】

- ① 国民健康保険税：【現年度】令和8年2月現在の調定額の98.0%として試算。【過年度】令和8年2月現在の収納額を記載。
 ② 収入額が確定となっていない科目については、補正後の予算額で試算。

【歳出】

- ① 保険給付費：医療費は対前年度比減を見込んでいる。医療費は県支出金（保険給付費等交付金）により賄われる。
 ② 出産一時金：令和8年2月現在対象者 4人。
 ③ 予備費：決算後、予備費は令和8年度へ繰越。

【協議事項 6】

国民健康保険税 子ども・子育て支援金制度（支援金）について

1. 制度の概要

令和 8 年度に施行される「子ども・子育て支援制度」は、子ども・子育て支援に必要な財源を確保するため、医療保険者が「子ども・子育て支援金」を拠出する仕組みです。

2. 国保での位置づけ

国保税は、これまでの「医療保険分 + 後期高齢者支援金分 + 介護納付金分」に加え、「子ども・子育て支援金分」を合算して年税額を算定します。

3. 税額計算上のポイント

①子ども・子育て支援金分も、他の区分と同様に、区分ごとに「所得割/均等割/平等割」を組み合わせて算定し、合算します。

②子ども・子育て支援金分の均等割では、子どもに係る均等割を減額し、その減額分は制度全体の財源として 18 歳以上の被保険者の負担に振り分ける取扱いとなります。

つまり、子どもがいる世帯では子ども分の均等割が軽くなる一方、減額した分は国保加入者全体(主に 18 歳以上)で支える仕組みです。

4. 令和8年度 子ども・子育て支援金分 税額(率)について

令和8年度の子ども・子育て支援金分の税額(率)は、県が示す標準保険税率を参考に算出しました。制度は4月から施行となりますが、新制度となるため暫定期間の税額を算定できないため、本算定で税額が確定した時点で、順次予算へ反映していきます。

なお、令和8年度当初予算案では、現時点での見込みとして、県へ支払う納付金額と同額を概算で歳入に計上しています。

令和8年度子ども・子育て支援金分の税額(率) 案

| 応能割 | 応益割 | | |
|-------|--------|------------|--------|
| 所得割 | 均等割 | 均等割(18歳以上) | 平等割 |
| 0.30% | 1,000円 | 30円 | 1,000円 |

令和8年度 国保税計算表

【計算条件】

○世帯員：父(45歳)・母(43歳)・子ども(19歳)・子ども(17歳) ※全員 国保被保険者

○世帯総所得：1,000,000円

| | |
|-------|--|
| 所得割 | 加入者の前年の所得に応じてご負担いただく部分 |
| 均等割 | 所得の有無や年齢にかかわらず、国保に加入している方全員に定額でご負担いただく部分 |
| 世帯平等割 | 人数や所得にかかわらず、国民健康保険に加入している世帯に定額でご負担いただく部分 |

| | 医療保険分 | | | 後期高齢者支援金分 | | | 介護保険分 | | | 子ども・子育て支援金分 | | | 合計 |
|-----|--------|-----------------------|---------|-----------|-----------------------|--------|-------|-----------------------|--------|-------------|-----------------------|-------|---------|
| | 税率等 | | 計 | 税率等 | | 計 | 税率等 | | 計 | 税率等 | | 計 | |
| 所得割 | 5.70 | × 所得額 1,000,000 | 57,000 | 2.55 | × 所得額 1,000,000 | 25,500 | 2.32 | × 所得額 1,000,000 | 23,200 | 0.30 | × 所得額 1,000,000 | 3,000 | 108,700 |
| 均等割 | 19,000 | × 4 | 76,000 | 9,200 | × 4 | 36,800 | 9,500 | × 2 | 19,000 | 1,030 | × 3 | 3,090 | 134,890 |
| 平等割 | 17,700 | × 1 | 17,700 | 7,800 | × 1 | 7,800 | 6,500 | × 1 | 6,500 | 1,000 | × 1 | 1,000 | 33,000 |
| 合計 | | | 150,700 | | | 70,100 | | | 48,700 | | | 7,090 | 276,590 |

【協議事項7】令和8年度 国民健康保険事業特別会計 当初予算(案)について

令和8年度 松戸市国民健康保険事業特別会計 当初予算(案)

【歳入】

(単位:千円)

| 科 目 | R8予算案(A-B) | R7当初予算 | B.差分 | 説 明 |
|----------------------|------------|-----------|---------|---|
| 1 国民健康保険税 | 253,851 | 251,437 | 2,414 | |
| (1)国民健康保険税(医療分) | 152,717 | 156,598 | -3,881 | 現年度分 149,717千円 滞納繰越分 3,000千円 |
| (2)国民健康保険税(支援金分) | 67,285 | 69,796 | -2,511 | 現年度分 66,285千円 滞納繰越分 1,000千円 |
| (3)国民健康保険税(介護分) | 25,115 | 25,043 | 72 | 現年度分 24,615千円 滞納繰越分 500千円 |
| (4)国民健康保険税(子ども・子育て分) | 8,734 | 0 | 8,734 | 現年度分 8,734千円 滞納繰越分 0千円 |
| 2 使用料及び手数料 | 192 | 201 | -9 | 督促手数料 192千円 |
| 3 国庫支出金(災害臨時特例補助金) | 1,033 | 6 | 1,027 | 災害等による国の臨時的補助金 |
| 4 県支出金 | 847,248 | 866,584 | -19,336 | |
| (1)保険給付費等交付金(普通交付金) | 833,550 | 852,378 | -18,828 | 保険給付費に対する交付金(出産一時金・葬祭費を除く全額が交付される) |
| ① 一般分 | 830,400 | 849,228 | -18,828 | |
| ② 診査支払手数料分 | 3,150 | 3,150 | 0 | |
| (2)保険給付費等交付金(特別交付金) | 13,698 | 14,206 | -508 | |
| ① 保険者努力支援分 | 7,637 | 8,342 | -705 | 保険者努力支援制度(市町村交付分)、(事業費連動分) |
| ② 特別調整交付金(市町村向け) | 1,840 | 2,301 | -461 | 国保保健事業費分 |
| ③ 都道府県繰入金(2号分) | 1,391 | 479 | 912 | 後発医薬品の普及、制度移行経過措置分 |
| ④ 特定健康診査等負担金 | 2,830 | 3,084 | -254 | 特定健診に係る費用を国と県からそれぞれ上限1/3ずつ補助 |
| 5 財産収入 | 210 | 20 | 190 | 基金利子 210千円 |
| 6 繰入金 | 93,004 | 83,006 | 9,998 | |
| (1)一般会計繰入金 | 69,004 | 71,506 | -2,502 | |
| ① 保険基盤安定繰入金 | 56,181 | 55,871 | 310 | 保険税 34,254千円 保険者 21,359千円 未就学児童等割分 561千円 産前産後免除分 7千円 軽減分 支援分 |
| ② 職員給与等事務費等繰入金 | 8,135 | 8,427 | -292 | 総務費(歳出科目)に対する繰入金 |
| ③ 出産育児一時金等繰入金 | 0 | 2,666 | -2,666 | 出産育児一時金の歳出額の2/3を繰入 |
| ④ 財政安定化支援事業繰入金 | 4,688 | 4,542 | 146 | 交付税措置(年齢構成差)分 |
| (2) 財政調整基金繰入金 | 24,000 | 11,500 | 12,500 | 町基金を取り崩したときの繰入金 |
| | | | | R5年度未収見込額 38,293千円 |
| 7 繰越金 | 15,587 | 20,178 | -4,591 | 前年度から今年度への繰越金 |
| 8 諮収入 | 6,952 | 6,892 | 60 | 第三者行為求償ほか |
| 合計 | 1,218,077 | 1,228,324 | -10,247 | |

【歳出】

(単位:千円)

| 科 目 | R7予算案(A-B) | R6当初予算 | B.差分 | 説 明 |
|-------------------|------------|-----------|---------|--------------------|
| 1 総務費 | 9,168 | 8,433 | 735 | |
| (1) 総務管理費 | 3,661 | 4,046 | -382 | 保険証発行、郵送等事務費 |
| (2) 徴税费 | 5,361 | 4,244 | 1,117 | 電算委託料ほか |
| (3) 運営協議会費 | 143 | 143 | 0 | 委員報酬 |
| 2 保険給付費 | 841,202 | 860,030 | -18,828 | |
| (1) 療養給付費 | 720,000 | 738,344 | -18,344 | |
| (2) 療養費 | 9,800 | 9,832 | -32 | |
| (3) 審査支払手数料 | 3,150 | 3,150 | 0 | |
| (4) 高額療養費 | 100,200 | 100,452 | -252 | |
| (5) 高額介護合算療養費 | 300 | 500 | -200 | |
| (6) 移送費 | 100 | 100 | 0 | |
| (7) 出産育児一時金 | 4,002 | 4,002 | 0 | |
| (8) 葬祭費 | 1,250 | 1,250 | 0 | |
| (9) 結核精神給付金 | 2,400 | 2,400 | 0 | 町の独自給付 |
| 3 国民健康保険事業費納付金 | 333,349 | 327,239 | 6,110 | 町から県へ納める納付金 |
| (1) 医療給付費分 | 202,964 | 205,307 | -2,343 | |
| (2) 後期高齢者支援金等分 | 89,743 | 91,118 | -1,375 | |
| (3) 介護納付金分 | 31,907 | 30,814 | 1,093 | |
| (4) 子ども・子育て支援交付金分 | 8,735 | 0 | 8,735 | |
| 5 保健事業費 | 14,256 | 14,048 | 208 | 疾病予防事業・特定健診・特定保健指導 |
| 6 基金積立金 | 210 | 20 | 190 | 基金利子分積立 |
| 8 諸支出金 | 9,550 | 8,168 | 1,382 | 償還金・還付金・延滞金 ほか |
| 9 予備費 | 10,342 | 10,386 | -44 | |
| 合計 | 1,218,077 | 1,228,324 | -10,247 | |

令和8年度国民健康保険特別会計予算（案）の概要

(1) 予算規模

| 年 度 | 予算規模 |
|-------|--------------|
| 令和8年度 | 1,218,077 千円 |
| 令和7年度 | 1,228,324 千円 |
| 比 較 | △10,247 千円 |

【予算規模が小さくなる主な要因】

予算の積算にあたり、直近の状況を反映させるため、前年度の決算見込み数値を参考に算出しています。歳出のうち、県への「納付金」については、新たに「子ども・子育て支援金分」が加わったことで増額となりました。しかし、保険給付費の減額幅がこの増額分を上回ったため、予算総額としては縮小となりました。

(2) 出産育児一時金に係る一般会計の繰入金廃止

これまで、出産一時金の額の2/3に出産見込件数を乗じた金額を一般会計から繰り入れていましたが、令和8年度から廃止となりました。ただし、令和8年度においては、出産一時金の実績の1/3が予算の範囲内において、県2号繰入金で補填されます。

(3) 令和8年度国民健康保険税

「長野県における保険税水準の統一に向けた松川町のロードマップ」に基づく税

【医療分】 上段：令和8年度 下段：（令和7年度）

| | 所得割 | 均等割 | 平等割 |
|------|-------|------------------------|------------------------|
| 医療分 | 5.70% | 20,000 円 (19,000 円) | 18,800 円 (17,700 円) |
| 支援金分 | 2.55% | 9,200 円 | 7,800 円 |
| 介護分 | 2.32% | 9,500 円 | 6,500 円 |

(4) 財政調整基金の取り崩しによる繰入

「長野県における保険税水準等の統一に向けた松川町のロードマップ」に基づき、税率据置により保険税が不足する部分を、基金取崩により対応。

令和8年度基金取り崩し … 24,000 千円

令和8年度末の基金残額見込 … 38,293 千円

※当初予算では、24,000 千円を取り崩す予定としてありますが、年度末の予算残を確認し、取り崩す額を減額する場合があります。